

試験時間 9:00~12:00

〔問題〕

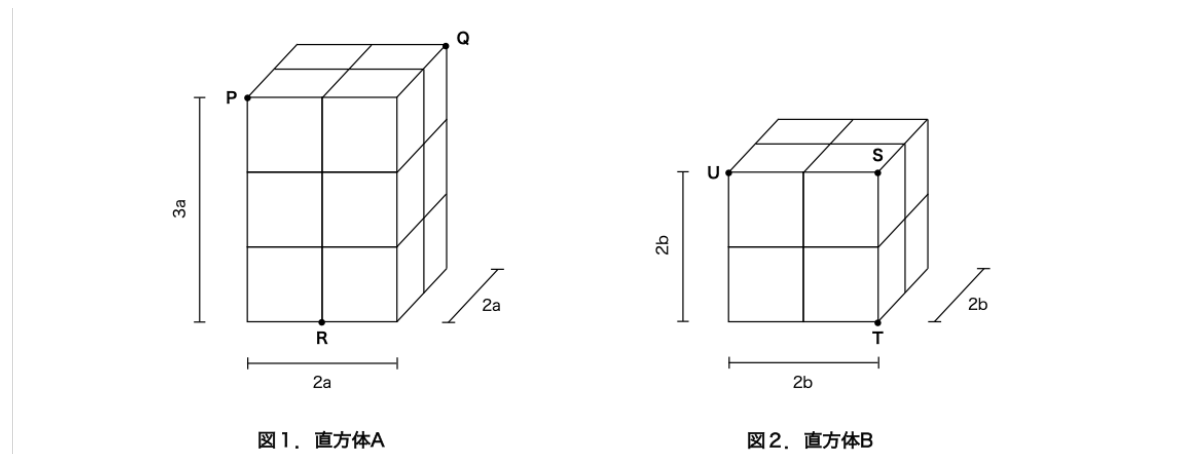
図1、図2に示したように、1辺の長さがaの密実な立方体12個を積み重ねて作った直方体A ($2a \times 2a \times 3a$) と、1辺の長さがbの密実な立方体8個を積み重ねて作った直方体B ($2b \times 2b \times 2b$) がある。

直方体Aと直方体Bに対して、それぞれ以下の操作を行うこととする。

操作①：直方体Aを、3点PQRを通る平面で切断する。

操作②：直方体Bを、直線STを軸とし、直線TUを回転してできる面で切断する。

以上を踏まえて、設問1~3に答えなさい。



〔設問1〕

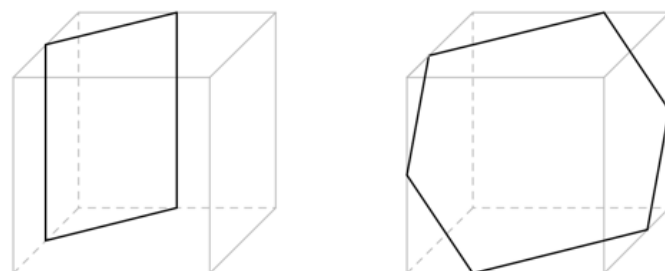
直方体Aを構成する1辺の長さがaの立方体のなかには、操作①によって2つに分割されるものがある。そのような立方体の個数をmとする。

- mの値を答えなさい。
- 2つに分割されたm個全ての立方体について、下記の解答例に倣い、解答用紙に印刷された立方体に切断面を描きなさい。

なお、解答用紙には12個の立方体が描かれているが、必要な分(m個)だけ用いること。描く立方体の順番は自由とする。

また、各立方体の切断面は、図1と同じ方向から見たものとして描くこと。

解答例)



〔設問2〕

直方体Bを構成する1辺の長さがbの立方体のなかには、操作②によって2つに分割されるものがある。そのような立方体の個数をnとする。

- nの値を答えなさい。
- 2つに分割されたn個全ての立方体について、〔設問1〕(2)の解答例に倣い、解答用紙に印刷された立方体に切断面を描きなさい。
なお、解答用紙には8個の立方体が描かれているが、必要な分(n個)だけ用いること。
また、各立方体の切断面は、図2と同じ方向から見たものとして描くこと。

〔設問3〕

〔設問1〕(2)で描いたm個の立方体と、〔設問2〕(2)で描いたn個の立方体のなかから、それぞれ1つの立方体を選びなさい。

そのうえで、選んだ2つの立方体をそれぞれ切断面で切り離し、合計4つの立体を以下の〈条件〉に従い、ひとつの空間に創造的に配置し、描画用B3判画紙に描写しなさい。

〈条件〉

- 4つの立体が描画用B3判画紙の中に収まるように描写すること。
- aとbの値は、自由に設定すること。
- 選んだ2つの立方体の切断面の形状の違いを分析したうえで、4つの立体のうち、少なくとも2つは切断面が見えるように配置すること。
- 選んだ2つの立方体のうち、1つは透明な素材とし、もう1つは不透明な素材として描くこと。
- 4つの立体のうち、少なくとも1つの立体は地面に接地していること。
- 描写にあたっては陰影を表現すること。なお、陰影は平行光線によるものとし、その向きは各自が自由に設定してよい。
- 〔設問3〕描画用B3判画紙は縦横使い自由とし、鉛筆で描くこと。

〔配布品〕

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 問題用紙 | ・・・1枚 |
| 2. 解答用紙 | |
| a. 〔設問1〕・〔設問2〕解答用紙 | ・・・1枚 |
| b. 〔設問3〕描画用B3判画紙 | ・・・1枚 |
| 3. その他 | |
| a. 草案用紙(A3判) | ・・・2枚 |
| b. ゴミ入れ用ビニル袋 | ・・・1袋 |

〔注意〕

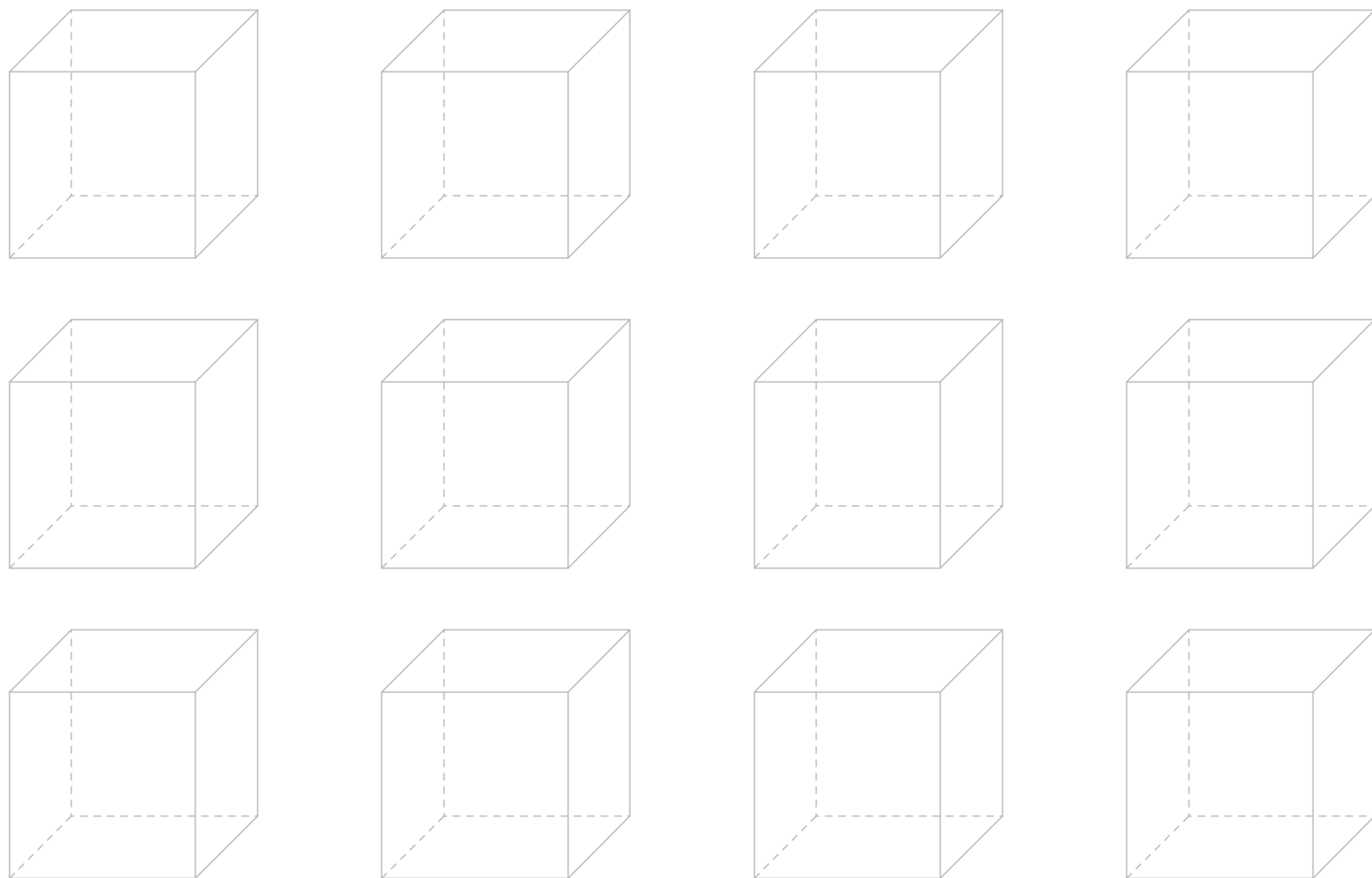
- 使用できる持参用具は、募集要項に記載されたもの「鉛筆(描画用)、消しゴム、三角定規(30cm程度一組)、カッターナイフ、はさみ」に限る。
- 配布品は持ち帰ってはならない。

受験番号	
------	--

[設問1]

(1) m の値： _____

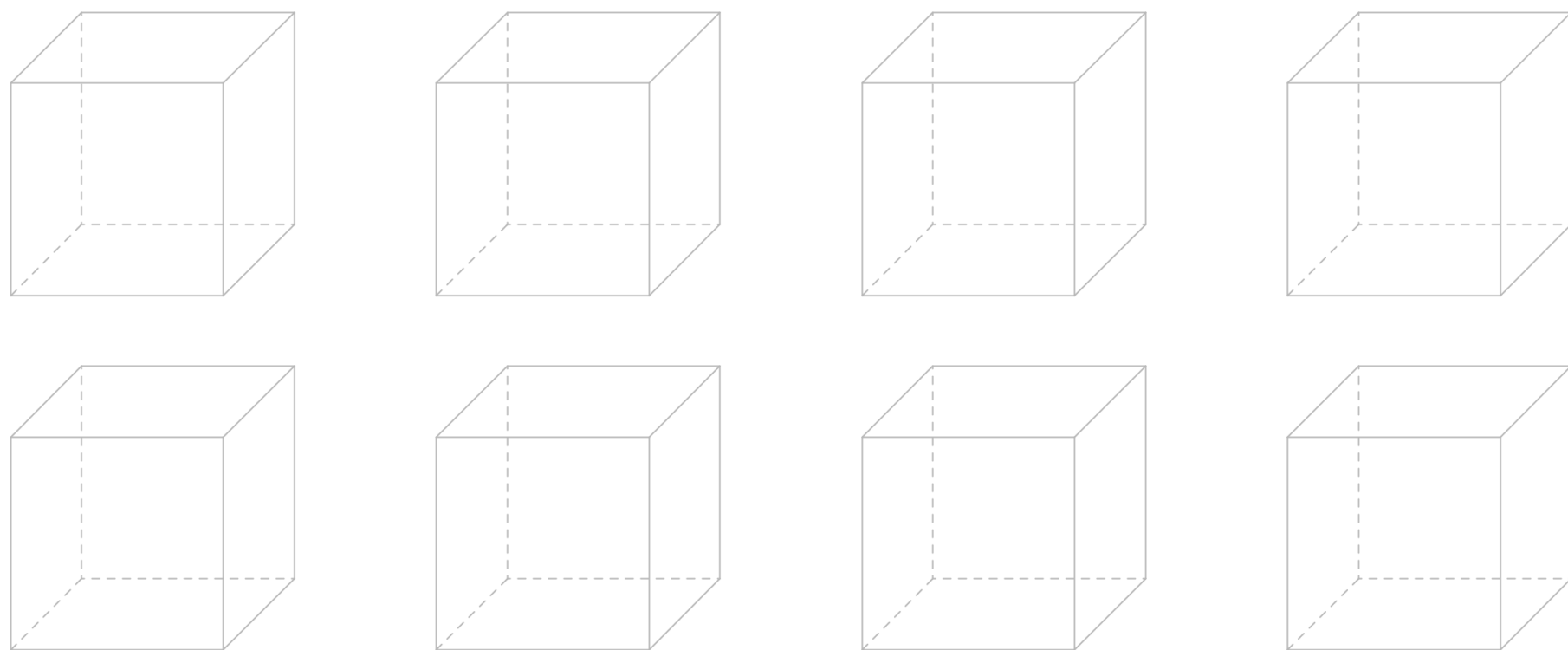
(2)



[設問2]

(1) n の値： _____

(2)



試験時間 9:00～17:00

【問題】

木と瓦の都市、鉄やコンクリートとガラスの都市、石の都市、日干しレンガの都市・・・、世界にはさまざまな都市がある。人それぞれに個性があるように、人々が住む建物にも、人々が集まって暮らすまちなみや都市にもさまざまな個性がある。それらは風土や気候と無関係ではない。都市は風景の一部であり、風景はまた都市の個性で特徴づけられている。

いくつかの個性的な都市では塔に出会うことがある。塔が建てられた背景はさまざまだが、塔が都市の個性に大きな影響を及ぼしていることは確かだ。そのような都市では、塔と都市と人とそれらを包み込む風景は、ひとつづきのものと言えよう。

私が訪れたある町では、見上げるような高い塔を建てるのが人々の羨望の的だった。町出身で、都(みやこ)でてがらを立てようとする者は町一番の塔を建てることをめざしたのだ。しかし狭い街区の中、敷地は限られているためピラミッドのような底面の大きなものは建てられず、手に入る資材の種類にも限りがある。それでも彼らは、強風や地震に耐える強度を有し、長きに渡りその子孫だけでなく町の誇りとなるような塔を競い合うようにして建てた。

以下は、ひとりの文学者によって記述されたその町のひとつの塔に関する文章である。

・・・兄が昇って行くものですから、仕方がないので、私も、一階位おくれて(…)段々を昇って行きました。(…)段々が、(…)上へ上へと際限もなく続いて居ります。本当にA. _____ 気持ちでしたよ。頂上は、(…) [よい] 見晴らし (…) になっていましてね、そこへたどりつくと、俄にパッと明るくなって、今までの(…)道中が長うござんただけに、びっくりしてしまいます。雲が手の届きそうな低い所にあつて、見渡すと、(…) [まちの] 屋根が(…)ゴチャゴチャしていて、(…)目まいがしそうなのを我慢して、下を覗きますと、(…) [まちが] おもちゃの様で、歩いている人間が、頭と足ばかりに見えるのです。頂上には、十人余りの見物が一かたまりになっておっかな相な顔をして、ボソボソ小声で囁きながら、B. _____ を眺めて居りましたが、兄はと見ると、それとは離れた場所に、一人ぼっちで、遠眼鏡を目に当てて、しきりとC. _____ を眺め廻して居りました。

江戸川乱歩「押絵と旅する男」より引用、[] 内は原作にない理解のための補助的語句

【配布品】

1. 問題用紙 …… 1枚
2. 解答用紙 …… 1枚
3. [設問3] 描画用B2判画紙 …… 1枚
4. 造形スタディ用具
 - a. 紙粘土 …… 1袋
 - b. ケント紙(A3判) …… 1枚
5. その他
 - a. 草案用紙(A3判) …… 3枚
 - b. ゴミ入れ用ビニル袋 …… 1袋
 - c. 画鋸 …… 2個
 - d. カッターマット …… 1枚
 - e. マスキングテープ …… 1巻

【注意】

- ・使用できる持参用具は、募集要項に記載されたもの「鉛筆(描画用)、色鉛筆(描画用)、消しゴム、三角定規(30cm程度一組)、カッターナイフ、はさみ」に限る。
- ・配布品は持ち帰ってはならない。

この試験は、具体的な都市に関する記憶や知識にとどまらない、あなた自身の想像に基づいた総合的な表現力を考査するものであり、正解を求めるものではない。また、引用文における原作の国、都市、時代設定にとらわれる必要はない。

【設問1】

塔の様子を記述した〔問題〕の文章中の下線部に、あなたがイメージする語句を入れなさい。

A. _____

B. _____

C. _____

【設問2】

その塔に文学者が強く惹かれたわけが記述されている以下の文章を、あなたのイメージに従って〔設問1〕のA・B・Cの語句を用いて完成させなさい。

外見は、 _____

中に入ると、 _____

頂上は、 _____

_____。

【設問3】

B2判画紙を自由に分割し、あなたがイメージするその塔について以下の4つの光景を描きなさい。用紙は縦横使い自由、着彩可とする。

- ・ 町の外から眺めた町と塔の光景
- ・ 近くから塔を見上げた時の光景
- ・ 塔の内部の光景
- ・ 「見晴らし」を背景とした塔の最上部の光景